

クロード・ワイズバッシュ

- 1927年 2月8日、フランスのティオンビルに生まれる
ナンシー国立美術学校を卒業
20代でサン・エティエンヌ美術学校の教授に任命され1987年まで教鞭を執る
- 1957年 この頃よりサロン・ドートンヌなどの展覧会に続けて出品を重ねる
絵画、ドローイング、版画などを展示した初の個展を開催
- 1961年 クリティック賞受賞、国際的に評価される
エルベ画廊と契約
- 1968年 フランス版画家協会の専任会員に任命
- 1997年 レジオン・ド・ヌール勲章を受章
- 2014年 4月8日、逝去

ヴィヴァルディやモーツァルト、ベートーヴェンなどをこよなく愛し、演劇と音楽をテーマにした作品を数多く発表してきました。全ての作品は、全ての戯曲への愛情に溢れていると言えるでしょう。たとえばヴァイオリニストにおいては情熱的で大胆な流れるようなタッチ表現されています。ワイズバッシュの作品は素描と完全の狭間に存在していて、そうであるがゆえに、一本一本の線が「その位置にあるべき」という作家の意図に抑えつけられず見る者の感性で跳ね上がり、演奏が幕を開けます。